

平成 28 年度卒業論文・卒業研究題目

人間科学系

氏 名	題 目
雪 野 敦 典	『パターン』とは別の仕方で
平 原 健 太	ジゼール・ブルレ『音楽創造の美学』における「形式」に関する考察
鈴 木 麻有子	青年期における恋愛様相の考察
馬 場 雄一朗	引きこもる人の心はどのようにして変わるか
緒 方 惇	「あがり」の現象学的研究
三 好 奈 巳	宮崎駿作品における女性の描写
井 口 智 博	福島第一原発事故の「復興」言説に見るリスク社会の不安
板 本 慎 司	ミルの功利主義について
門 間 ゆきの	関係を生み出す地縁技術 ―東北タイ、カオボンのカティップ（竹籠）づくりの事例―
黒 河 雅 樹	『オリバー・ツイスト』におけるオリバーの主体性をめぐる考察
坂 根 衣璃子	青年期の母娘関係について：「上下関係」と「横の関係」の観点から
笹 嶋 淳 史	何のために生きるのか ―幸福論の再考―
添 島 直 希	京大アメフト部における世代性の意識の変容過程について
孫 智 男	バークリー哲学における「常識」
高 岡 風 太	海外ボランティアに向かう若者の語りから見る現代的な自己とその志向性 ―「脱文脈化志向」の検証と考察―
高 木 遊	『関係性の美学』からコンテンポラリーアートをみる
徳 永 陸	Kipling の短編“The Wish House” 考察 ―Grace と Token の関係性を中心に―
望 月 裕 紀	留学経験が若者のモラトリアム心性に与える影響について
吉 田 森 生	不登校児童にとっての不登校体験とは
秋 山 和 慶	メルロ＝ポンティの他者論 ―行動において現れる他者
吾 妻 真 典	1960 年代から 1990 年代までにおける「高校球児らしさ」の分析 ―『朝日新聞』の記事を対象として
池 田 知 愛	ドヴォルザークの序曲『オセロー』について
磯 部 有 珠	大阪教育大学付属池田小学校児童殺傷事件の被害者は事件をどう受け止めているのか
稲 垣 智 子	「客いじり」における笑いの効果
稲 荷 思 歩	Cognitive Distortions in Dickens's <i>Great Expectations</i> (ディケンズの『大いなる遺産』における認知の歪み)
上 野 元 希	アメリカのポピュラー音楽シーンと楽曲チャート Billboard Hot 100 についての社会学的考察
柿 井 秀太郎	ブランクーシの彫刻について
加 藤 悠 花	境界例心性を持つ大学生の実態に迫る

- 神 谷 侑 世 伝統文化の継承を軸にした地域活性化に関する考察 ―尾鷲市の事例研究
- 神 田 弘 文 カント『純粹理性批判』における構想力の認識論的位置づけについて
- 阪 本 雅 也 現代の英雄に関する精神分析
- 高 島 悠 里 学童期のルール遊びの変容とそこから見える育ち
- 武 部 沙 愛 海外滞在時の心理についての研究
- 多 田 拓 歩 バルーンアートが作る人々の「繋がり」 ～バルーンアーティストによるアクションリサーチ～
- 長谷川 菜 月 高齢者サロンにおけるつながりの再検討 ―京都市左京区におけるフィールド調査より
- 目 代 貴 大 知覚の構造 ―メルロ=ポンティ『知覚の現象学』読解を通じて―
- 森 口 勲 妖怪をみる
- 諸 岡 敬 人 若者のコンサマトリー化とアルコール離れについて
- 八 木 茜 里 バークリ哲学におけるものの存在の公共性について
- 吉 原 隆 仙 レヴィナスと歓待性 ―道徳実践へ導く哲学の考察―
- 渡 邊 友 浩 テレビ視聴率についての社会学的考察 ―その捉えられ方の変化を中心に
- 大 谷 昭 宏 中上健次の「路地」 ―「父殺しの不可能性」と「差別」

認知情報学系

- | 氏 名 | 題 目 |
|---------|---|
| 大 沼 慶 寿 | 摂食障害患者における分配行動 ―社会的相互作用に着目した検討― |
| 高 田 祐 也 | 方向性のメタファー「左右」「前後」「縦横」について |
| 石 丸 聖 | 動的な視覚情報が身体の傾き知覚に及ぼす影響 |
| 北 林 綾 子 | 色彩に関する共感覚的形容について |
| 島 田 雄 午 | HMD と Hand-Tracking デバイスを用いた仮想空間内における Web ページ閲覧手法の開発 |
| 田 口 勝 弥 | 液体に喩えられるものの認知様態 ―放出系動詞に着目して― |
| 田 坂 晃 一 | On the Optional Infinitives in Child Language Development
(幼児の言語発達初期段階における随意的不定詞 (Optional Infinitives) の出現について) |
| 鳥 越 地 子 | 日本語補助動詞テシマウと英語 get 受動における話者の感情表出 |
| 西 尾 允 孝 | マジックによるだまされやすさの個人差の検討 |
| 青 木 恒 | 音響特徴量 MFCC 値を用いた楽曲間類似度の考察
―楽曲推薦システムの開発に向けて― |
| 浅 桐 祐 | プレゼンテーションの話者の位置が聴者の脳活動におよぼす影響 |
| 飯 阪 宗 麻 | Support Vector Machine とそれによる Man-in-the-Middle 攻撃の検知手法について |
| 井 上 翔 太 | 言語景観に関する一考察：京都市内の商店における多言語表示を中心として |
| 植 本 圭 哉 | 性格特性に関する形容詞の記憶とその感情評価に対して他者との社会的関係性が与える影響 |
| 牛 尾 響 | 関連性理論に基づく文芸批評言語の分析 |

大 代 誠 志	ペンの色が色字共感覚者の書字に与える影響
岡 田 晃	Functional muscle synergies during standing in perturbation (外乱立位中における機能的筋シナジীর考察)
勝 又 槇 子	ガイドブックにみられるカテゴリーの認知的分析
加 藤 大 智	恥の感情を伴う自伝的記憶の特徴とその個人差に関する実験心理学的研究
川 北 拓 弥	関数解析による数理最適化
紀 平 直 人	The comparison of kinematic and muscle synergies in the various speed conditions (多速度帯における筋シナジীর運動学シナジীর比較)
芝 原 隆 善	意味役割の教師なし学習について
清 野 菜美恵	ヘッドマウントディスプレイを用いた仮想現実における新たな行動実験環境の提案
高 田 晴 夏	英語の「ドシンドシンと歩く」動詞の比較
高 森 諒	周辺視野に呈示された画像エッジの優位性が眼球運動の方向に与える影響
豊 田 祐 輔	歩行と走行の相転移における筋線維の動態
土 井 寛 人	Preferred direction of muscle synergy in multi-directional postural control in humans (ヒトの多方向の姿勢制御における筋シナジীর至適方位の測定)
中 山 花 穂	文章構造の理解を助ける色彩デザイン ―明度差の利用―
長 澤 勇 貴	Destination memory と Source memory の関係性に関する実験心理学的検討
西 藏 亜佳音	ニット生地の高次質感認知に及ぼす染色法と構成色の効果
原 田 貴 将	軽度高気圧酸素が論理的思考力へ与える影響
樋 藤 篤	深層学習と強化学習のコンピュータ将棋への応用の考察
福 田 晴 奈	積木課題を通した乳幼児の発達
藤 春 祐 紀	競技かるたにおける決まり字音節の直前音認知についての考察
松 下 貴 之	プログラムの難読化を利用したステガノグラフィの一手法

国際文明学系

氏 名	題 目
森 祐 太	長時間労働の現状分析と対策
神 岡 秀 治	マルクスにおける「労働の価格」の実践的意義
モンタニョミ チェルリス	雇用保険二事業の整理合理化により生じる予算を失業等給付に充てる可能性
金 子 世玲那	森林による土石流災害低減の可能性の評価
酒 井 肇	「幸せの国」の若年失業 ～ブータン王国の「歪な失業」とその背景～
関 口 一 騎	柄谷行人『世界共和国へ』再読 ―議論の整理及び批判と現実的方策としてのブロックチェーン
中 嶋 樹	Hedonic 価格関数を用いた美術品価格の統計分析
服 部 昌 紘	「原発マネー」が活用されない原因についての考察 ―福井県おおい町を事例として―

廣 川 悠 貴	行政訴訟制度と私人の権利利益保護
溝 渕 克 仁	GDP とは異なる指標による社会進歩幸福度の測定方法 ―社会進歩指標に注目しながら―
横 田 洋	京都学派の歴史哲学 ―西田幾太郎から西谷啓治へ―
稲 田 昂 弘	日本の現代社会と他者
大 野 峻 介	政策導入要因が公立中高一貫教育に与える影響 ―京都市の2校を比較して―
香 川 敬 哉	日本の格差をどう是正するか ―ピケティを参考にして―
小 丸 真 志	養蜂および野生ポリネーターの農業生産への貢献度 ―佐渡島を事例として―
近 藤 裕 哉	ミャンマーにおける新規教育ビジネスの考案
斎 藤 航	デフレの研究：議論の整理と今後の課題
多 田 裕 也	オリンピックの商業化に関する歴史的考察及び原因の解明
富 木 香 奈	白拍子の芸能の実態とその魅力
西 山 浩太郎	競馬からみる人間の不合理性
松 澤 健太郎	GHQ／SCAP による対日占領政策 ―検閲問題を中心に―
宮 平 和 人	The Japanese Occupation of Hong Kong : The Strategic Importance of Hong Kong and the Details of the Japanese Military Rule (日本占領下の香港 ―その戦略的重要性と日本軍政の詳細)
渡 部 純 也	ドーピング違反の現状と国際比較
和 田 萌	フランスの共和国理念としてのライシテについて

文化環境学系

氏 名	題 目
砂 田 哲 宏	ベトナム・メコンデルタにおける塩水遡上
申 大 樹	それぞれの一線を守る ―大阪西成／釜ヶ崎の生活誌から―
本 望 菜穂子	できるようになるとは何なのか ―煎茶道における身体的学び―
湊 本 泰 行	ポスト新韓流時代の韓流ファンにおける韓国認識の分析
石 野 陽 子	村井家住宅普請帳「家普請材木諸品買方并入用帳」に関する研究
小 国 里 菜	「身体が覚えている」ことを考える ―吉田剣鋒保存会における鉾差し技術の習得を事例として―
齋 藤 駿 介	戦時期仙台における防空都市計画 ―建物疎開を通じた都市の変容と継承―
谷 山 佳 南	現代日本社会における個人の意識と身体のあり方について
中 垣 智 晴	地域おこし協力隊が住民の主体性を生み出す仕組みづくり
奈 良 美和子	定住人口・交流人口の再考と「関係人口」の意義 ―京都府和束町における実践から―
三 好 志 尚	中世鹿児島島の景観変遷 ―守護所と港の関係から―
盛 本 悠 人	鉄道駅が都市の構造変容に与えた影響とその過程について ―福山を中心として―
山 村 陽 子	ともに創り出す遊興 ―京都・花街におけるお茶屋遊びのエスノグラフィー―

- 山 脇 謙 場所の意味の転換についての考察 —『道頓堀川』を通して
- 渡 邊 安 紗 パリ・オペラ座バレエとバレエ・リュスの相互作用 —グローバルな総合芸術

自然科学系

- | 氏 名 | 題 目 |
|---------|--|
| 古 田 風 彦 | 発達段階の異なる稚魚の分離シミュレーション |
| 有 保 秀 徳 | UV-A 単色光を利用して生育する藻類の多様性と光合成活性維持の仕組みに関する研究 |
| 板 垣 義 綱 | 高速原子間力顕微鏡を用いたアクチン重合核形成機構の解明 |
| 今 城 葉 月 | ブルネイ・ダムサラーム国において分離された新規単細胞緑藻の分類学的考察 |
| 岩 戸 彰 平 | 京都におけるオオサンショウウオの交雑問題 |
| 荻 野 奈緒子 | ガン光線力学療法への応用に向けたグラフェン-光増感剤複合体の合成およびその構造の評価 |
| 北 川 裕 貴 | 混合アニオン化合物の作製と価電子帯制御による機能発現 |
| 近 藤 香 澄 | 礫浜潮間帯におけるミミズハゼ属 2 種のマイクロハビタットと食性 |
| 坂 上 小百合 | クラスリン依存的エンドサイトーシスにおけるタンパク質の機能解析 |
| 高 裕太郎 | 白金パラジウムコアシェル触媒の温度依存性評価 |
| 中 島 瑞 貴 | 人工甘味料を基体とするキセロゲルの気体吸着特性に関する研究 |
| 中 舩 理 玖 | Phylogenetic position of a bulbil producing <i>Tricyrtis</i> species (Convallariaceae) estimated by genome-wide SNP analysis
(ゲノムワイド SNP 解析によるむかごを形成するホトトギス属植物の系統的位置づけ) |
| 浪 花 晋 平 | 酸化チタン光触媒を用いた可視光照射下でのピリジンとシクロヘキサンの選択的直接クロスカップリング |
| 花 川 洋 輔 | ラセミ体医薬品の共結晶化が優先富化現象に及ぼす影響 |
| 早 川 諒 | シアノバクテリアにおける遺伝子発現抑制系の開発 |
| 平 畠 諒 大 | イリジウム錯体触媒を活用する高難度物質変換反応の開発 |
| 宮 本 志 信 | 京都北郊の里山生態系における潜葉虫群集とその動態 |
| 柳 瀬 友 朗 | 地表付近の大気乱流における浮力効果の考察
—熱対流乱流の室内実験研究— |